

厳選されたおすすめ機器のご紹介

期末大感謝セール

39

CAMPAIGN 第10弾

サンキューキャンペーン2023



令和5年 1月5日～3月31日まで

平素は格別のお引立てを頂き、厚く御礼申し上げます。日頃のご愛顧に感謝し、本年も「期末大感謝セール・39キャンペーン」を開催します。ご好評のうちに10回目を迎え、対象商品もさらに厳選、充実した内容でお届けします。本冊子に掲載の対象商品に、ご利用頂ける割引クーポン（割引総額 390,000 円）を進呈いたします。心ばかりの感謝の気持ちではございますが、ご利用条件を確認の上、是非、この機会にご利用ください。



BANZAI 株式会社 バンザイ <https://www.banzai.co.jp>

<p>本社 東京都港区芝2-31-19 TEL 03-3769-6880 E-mail: eigo@banzai.co.jp</p> <p>営業部 東京都港区芝2-31-19 TEL 03-3769-6881</p> <p>海外販売部 東京都港区芝2-31-19 TEL 03-3769-6894</p>	<p>札幌支店 札幌市西区24軒1条7-3-10 TEL 011-621-4171</p> <p>仙台支店 仙台市宮城野区福室2-8-21 TEL 022-258-0221</p> <p>関東支店 埼玉県北本市朝日4-553 TEL 048-590-3700</p>	<p>東京支店 東京都港区芝2-31-19 TEL 03-3769-6840</p> <p>名古屋支店 名古屋市千種区青柳町6-26 TEL 052-732-2600</p> <p>大阪支店 大阪市長田東3-3-11 TEL 06-6744-1041</p>	<p>広島支店 広島市西区南観音2-7-10 TEL 082-233-3201</p> <p>福岡支店 福岡市博多区那珂5-3-15 TEL 092-411-1261</p>	<p>●営業所 旭川・青森・秋田・盛岡 郡山・山形・新潟・長野 前橋・宇都宮・水戸・埼玉 千葉・横浜・静岡・多摩 北陸・三重・京都・神戸 高松</p> <p>●出張所 帯広・函館・富山・松山 岡山・山口・山陰・長崎 大分・熊本</p> <p>●販売会社 バンザイ南九州販売(株) バンザイ沖縄販売(株)</p>
--	---	---	---	---



BANZAI NEWS

2023
Winter
325

特集
BANZAI NEWS

2050年カーボンニュートラル達成に向けた急激な電動化にも慌てないお店作り





朝日に輝く雪の道 北海道

シベリアからの季節風が運ぶ雪に、真っ白に覆われた冬の北海道。十勝岳連峰から射しこむ朝日は樹々の梢を輝かせ、雪道に走る幾筋もの轍に縞模様様の陰影を刻んでいます。厳しい寒気のなかでも車は日々の糧を運び、道は人々の暮らしを支えています。凍てつく氷点下の大気に包まれた上富良野の冬。

★歳時記

- 1月 1日 元日
- 7日 七草
- 9日 成人の日
- 2月 3日 節分
- 4日 立春
- 11日 建国記念の日
- 23日 天皇誕生日
- 3月 3日 ひな祭り
- 18日 彼岸入り
- 21日 春分の日



●目次

- ★新年のごあいさつ……………①
- ★特集
「SMART」サービスショップ作りのために必要なことは? ……②
【第4回】2050年カーボンニュートラル達成に向けた
急激な電動化にも慌てないお店作り
- ★モデルショップ訪問
【株式会社 広島マツダ 西条店】……………⑥
エリアの活性化と拡大するニーズに対応、
最新コンセプトの店舗・サービス工場が誕生
- 【株式会社 新和自動車】……………⑧
高度な技術・人材力と最新設備、
最高品質のサービスで変化の時代に対応
- ★ショールーム……………⑩
- ★TOPICS<海外情報>ベトナム……………⑭
- ★ロータリー……………⑯

あけましておめでとうございます

皆様にはお健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素よりご愛顧を賜り誠にありがとうございます。

数年にわたって社会、経済や、私たちの生活環境にも大きな変化をもたらしたコロナ禍は、いまだ終息の状況にはほど遠いものの、世界ではウィズコロナへの動きが着実に見えてまいりました。

この間、混乱の中にもありながらも世界は大きく変化し続けています。温暖化の防止、脱炭素化社会へ、そしてSDGsの達成へ向けて、社会や企業活動においても、持続可能な経済成長のありかたを模索し、さまざまな取り組みが展開されています。

自動車においても「CASE」をキーワードとして急速な変化が起こりつつあります。とりわけ電動化、自動運転化を柱とする未来モビリティ社会への移行は、今後の10年を目途に大きく加速するものとみられています。これらの変化と、それによってもたらされる技術進化により、自動車サービスの分野においても大きな変化と対応が求められています。

こうした中、本年は4年ぶりとなるオートサービスショーの開催が予定されています。メカニズムの進化がもたらすサービスニーズの変化、新たな法制度への対応など、新時代に即応するサービス体制の構築が急務とされるなか、バンザイは「SMARTサービス 自動車整備のみらいをデザイン」をテーマとして、持続可能な新時代のモビリティサービスを提案してまいります。

高度化する自動車に対応する技術、システムの高度化、また新たなサービスビジネスの構築、今後さらに進展する少子・高齢化社会におけるクルマの役割とサービスのあり方など、バンザイはサービス機器の提供にとどまらず、安全・安心なモビリティ社会・街づくりの実現に貢献してまいります。また「ESG方針」に基づき、事業を通じて環境や社会の課題解決に寄与する活動を、これからも進めてまいります。

末文になりますが、皆様のご健勝をお祈り申し上げますとともに、本年も倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



株式会社 バンザイ
柳田 昌宏

特集

BANZAI NEWS

「SMART」サービスショップ作りのために必要なこととは？

(SMART=Sustainable mobility actions realize tomorrow. (持続可能なモビリティアクションで未来を実現します。))

第4回

2050年カーボンニュートラル達成に向けた急激な電動化にも慌てないお店作り

2015年11～12月に開催された「COP21」で「パリ協定」が採択されて以降、世界各国が「2050年カーボンニュートラル実現」を目標として掲げています。

これに追従する形で、日本を含む世界各国の自動車メーカーも、2050年までのカーボンニュートラル実現を目指し、車両の電動化を含め様々な施策・技術革新を急速に進めています。

では、サービスショップの皆様は、こうした世界全体の動きに対し、どう対応すべきなのでしょうか？

当連載「『SMART』サービスショップ作りのために必要なこととは？」、最終回の今回は、「2050年カーボンニュートラル達成に向けた急激な電動化にも慌てないお店作り」について考えたいと思います。

カーボンニュートラル実現の手段はZEV (=Zero Emission Vehicle) だけではない！

1995年より毎年開催されている国連気候変動枠組条約 (United Nations Framework Convention on Climate Change. UNFCCC) 締約国会議 (Conference of the Parties. COP)、通称「COP (コップ)」では、地球温暖化と気候変動の原因とされる温室効果ガスの排出削減に向け、様々な枠組みが定められてきました。

その中で、1997年の「COP3」では2020年までの温室効果ガス削減目標を定める「京都議定書」を採択。そして2015年の「COP21」では、京都議定書に代わり2020年以降の温室効果ガス削減目標を定める「パリ協定」が採択されました。この「パリ協定」で取り決められた、特に重要なポイントは以下の2つです。

●世界的な平均気温上昇を工業化 (1850～1900年) 以前に比べて2℃より充分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を追求すること (2℃目標)

●今世紀後半に、温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と吸収源による除去量との間の均衡を達成すること (カーボンニュートラル)

途上国を含む全ての参加国に排出削減の努力を求め、史上初の枠組みという点において極めて画期的と言われるこの「パリ協定」に基づき、各国は温室効果ガス削減目標を定め、以後のCOPにおいても具体的方法を議論し枠組みを定めています。日本では2020年に「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」を策定。翌2021年には「パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略」を閣議決定し、国連に提出しました。

そして、2021年にイギリスで開催された「COP26」では、販売される全ての新車を主要市場で2035年までに、世界全体では2040年までにBEV (バッテリー式電気自動車) やFCV (燃料電池車) などのZEV (走行時ゼロエミッション車) とすることを目指す、法的拘束力のない共同声明が発表されました。このZEV声明には2022年11月時点で、イギリス、スウェーデン、カナダなどの政府、フォード、ゼネラルモーターズ (GM)、ジャガー・ラン

ドローバー、メルセデス・ベンツ、ボルボ・カーズなどの自動車メーカーのほか、世界各国の自治体や関連企業、金融機関などが署名しています。

こうして見ると、2050年にカーボンニュートラルを達成するため、世界全体が自動車のZEV化=ICE (Internal Combustion Engine. 内燃機関) 車の廃止に向けて一斉に動い

ているように捉えられますが、実際にはそうではありません。

まずカーボンニュートラルですが、前述の通り「温室効果ガスの人為的な発生源による排出量と吸収源による除去量との間の均衡を達成すること」、つまり差し引きゼロにすることであり、温室効果ガスの排出を完全にゼロにすることを意味してはいません。

また、前述のZEV声明には、アメリカ、中国、日本、ドイツ、韓国などの主立った自動車産業国に加え、フォルクスワーゲン、BMW、ステランティス、ルノー、ヒョンデといった自動車メーカーも署名していません。日本の自動車メー

5 自動車・蓄電池産業

主な今後の取組

- 電動化目標を設定する。
 - 乗用車は、2035年までに、新車販売で電動車100%を実現。
 - 高用車は、小型の車については、新車販売で、2030年までに電動車20～30%、2040年までに電動車・脱炭素燃料車100%を目指す。大型の車については、2020年代に5,000台の先行導入を目指すとともに、2030年までに2040年の電動車の普及目標を設定。
- 蓄電池目標を設定する。
 - 2030年までのできるだけ早期に、国内の車載用蓄電池の製造能力を100GWhまで高める。
 - 家庭用、業務・産業用蓄電池の合計で、2030年までの累積導入量約24GWhを目指す。
- 充電・充電インフラ目標を設定する。
 - 公共用の急速充電器3万基を含む充電インフラ15万基を設置し、2030年までにガソリン車並みの利便性を実現。
 - 2030年までに1,000基程度の水素ステーションを最適配置で整備。
- 電動化推進に向けて、施策パッケージを展開する。
 - 例：燃費規制の活用、公用車・社用車の電動化促進、導入支援や買換え促進、蓄電池等の大規模投資促進、充電・充電インフラの導入拡大、サプライチェーン・バリューチェーン強化、蓄電池のライフサイクルでのCO₂排出見える化の検討、燃料電池自動車における道路運送車両法と高圧ガス保安法の関連規制の一元化 等

2050年における国民生活のメリット

- 移動の安全性・利便性が向上する。
 - 事故・移動弱者・交通渋滞ゼロに向けて、安全運転支援・自動走行技術の普及・高度化や高度なデジタル・通信技術を活用。
- 移動時間の活用を革新する。
 - 車内が「動く居住・サービス空間」となり、車内空間や移動時間の有効活用に加えて、移動せずに様々なサービスを楽しむことが可能に。
- 「動く蓄電池」を社会実装する。
 - 電動車を蓄電池として活用することにより、平時にはスマートシティを高度化し、災害時にはレジリエンスを向上。

「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」自動車・蓄電池産業に向けた主な取り組みとメリット (出典:経済産業省)

カーに至っては、ZEV化に最も積極的なホンダを含めて1社も署名していないのです。

日本自動車工業会 (自工会) は、ZEV化のみに頼ったカーボンニュートラルの実効性と実現可能性に対しWell-to-Wheel (油井から車輪まで。ここでは動力源と

1.2 シナリオ分析結果のサマリー

地域	2050年におけるCO ₂ 排出量レベル
世界全体	<ul style="list-style-type: none"> いずれのシナリオでもIPCCの2050年1.5℃ CO₂削減目標を満たす削減可能性がある。 IEA-NZEは唯一のパスではなく、HEV・PHEVを含む多様な電動化と、CN燃料の組み合わせにも可能性がある。
先進国	<ul style="list-style-type: none"> いずれのシナリオでも、2050年CNに近い水準の削減が可能。 ただし、完全なCN化には、脱炭素化された電源とともに、内燃機関既販車のためのCN燃料が必要。
新興国	<ul style="list-style-type: none"> 多くの地域では販売台数が大幅に増大するため、シナリオ1のCN燃料供給量を約30%から約40% (1.25倍) に増量すれば、IPCCが提示する2050年1.5/2.0℃ CO₂削減目標を満たす可能性がある。

自工会は2050年カーボンニュートラルへ向けて自動車業界を挙げて全力でチャレンジします

世界中のステークホルダーの皆様と共に、
地域毎のエネルギー事情を踏まえ、お客様のニーズに合わせた
多様な選択肢をご提供できるよう、最大限努力していきます。

Copyright © Japan Automobile Manufacturers Association, Inc.

日本自動車工業会「2050年カーボンニュートラルに向けたシナリオ分析」概要。
IPCC=Intergovernmental Panel on Climate Change (気候変動に関する政府間パネル)、IEA=International Energy Agency (国際エネルギー機関)、NZE=Net Zero Emissions by 2050 (2050年ネットゼロエミッションに向けたシナリオ)

なる燃料の生成または発電所での発電時から車両の生産、走行時までには排出する温室効果ガスのことを指す)の観点から明確に疑問を呈しつつ、ハイブリッド車やPHV(プラグインハイブリッド車)、カーボンニュートラル燃料、水素エンジン車などの多様な選択肢を残すことでカーボンニュートラルはむしろ実現できると提言しています。また、他の非署名国・自動車メーカーも同様のスタンスを取っています。

そして日本政府も、2035年までに乗用車、2040年までに車両総重量8t以下の商用車について、新車販売の電動車100%実現を目標に掲げていますが、この「電動車」にはハイブリッド車やPHVも含まれています。

また、欧米など一部の大都市では、ディーゼル車やガソリン車の通行禁止に向けて動いていますが、日本ではそうした動きには至っていません。

ICE車の整備・修理ニーズは当面継続。だが急速に普及が進む電動車への対応は不可避に

つまり、こと日本においては、エンジンを搭載する車両がごく近い未来に、新車販売できなくなるわけではなく、ましてや保有・走行できなくなるわけでもない、ということ。しかも日本国内の自動車保有台数は、いずれ減少に転じるとかねてより予測されていながら、コロナ禍や半導体不足による新車長納期化などの影響もあり、今なお微増傾向が続いています。

ですから、サービスショップの皆様は当面の間、ICE車の整備・修理を引き続き求められると言えるでしょう。しかもその間、ICE車にも温室効果ガス削減が求められるため、パワートレインやボディ・シャシー、燃料・油脂類を含む消耗品の進化・変化は止まらず、そうした技術革新にも対応していく必要があります。

さらに、中古車相場の高騰、平均使用年数の長期化、レストア需要の増加といった近年の傾向が、コロナ禍や半導体不足、そして電動化シフトに反発した純ICE車ニーズの急増により拍車がかかったことで、特に専門のサービスショップの皆様は既販車、とりわけ中・低年式

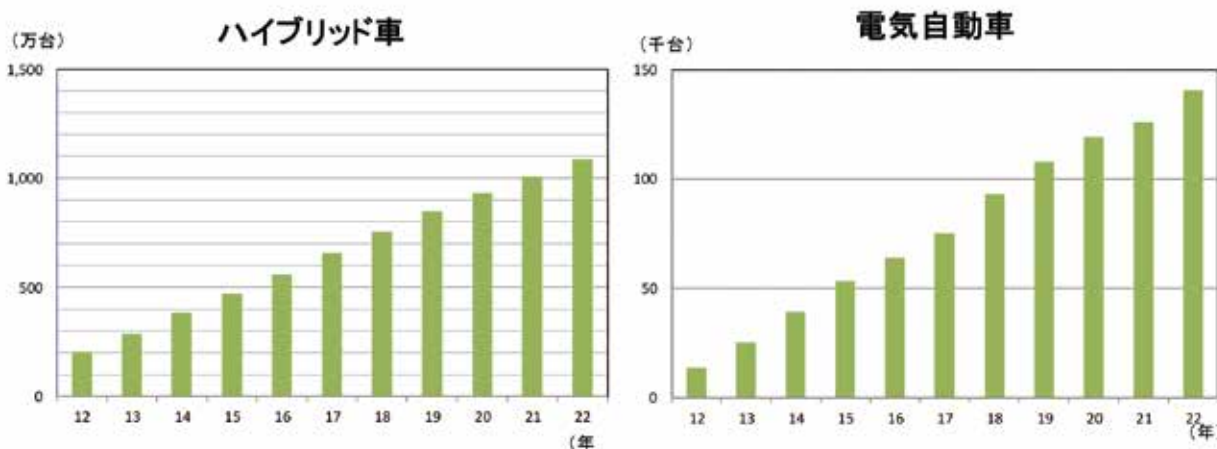
車の整備・修理に対応していくことが、ますます重要になったと言えます。

では、ZEVを含む電動車の整備・修理に対応する必要があるかと言えば、もちろんそういうわけではありません。電動車の保有台数は年々増加しており、日産が軽自動車のBEV「サクラ」、三菱が同じく「eK X EV」を発売したことに象徴されるように、今後はZEVの普及も急速に進むことは確実な情勢です。従って、メカニックの低電圧取扱特別教育受講および一級自動車整備士資格取得、サービス工場への絶縁工具や充電設備の導入、リフト能力アップといった、ソフト・ハード両面の対応策は、さらなる充実が不可欠となります。加えて、FCVや水素エンジン車の普及も進めば、それらに対応する専門的な知識・技術やツール・設備が求められます。

バンザイではこうした情勢の変化にもいち早く対応し、サービスショップの皆様をサポートする整備・修理機器を多数ご用意するとともに、各種セミナーやオートサービスショーなどのイベントを通じて積極的に情報発信しております。今後とも皆様と一緒に、「SMART」サービスショップの実現に邁進していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



日産サクラ(上)と三菱eK X EV(下)



ハイブリッド車(PHV含む)・電気自動車の保有台数推移(出典:自動車検査登録情報協会「わが国の自動車保有動向」)

エリアの活性化と拡大するニーズに対応、最新コンセプトの店舗・サービス工場が誕生

広島県内に20拠点を展開する株式会社広島マツダではこのたび西条店を移転新築、併せて近隣の黒瀬店を統合し、今後の市場とニーズの拡大に対応する新たな基幹店舗としてオープンしました。マツダの新世代店舗としてデザイン、機能両面で最新コンセプトを導入するほか、サービス面でもデジタル化など新たな対応を実現しています。



バイパスに面した西条店、1~2階がショールーム、3階が中古車展示場。



代表取締役社長 兼 COO
山根 一郎 氏



黒を基調とした新世代店舗のデザインを採用。



1階ショールーム、高速道トンネルのアーチをイメージした
デザイン。



地域エリアの活性化に対応

東広島市の郊外を南北に走る幹線国道375号バイパス線に面した西条店の新店舗は、敷地面積4,546平方メートル、黒を基調とした外観と斬新な店舗デザインで沿線の新たなランドマークとなっています。

「旧店舗は市街地に立地していたため、今後の市場規模への対応が困難でした」と、代表取締役社長の山根一郎氏。広島は衛星都市としてベッドタウン化の進む東広島市にあって、今後の需要拡大とともにニーズの変化に対応する新たな拠点の開設が課題とされていたそうです。

新店舗は1~2階にショールーム、商談コーナー、待合スペースをレイアウト、また3階を中古車展示場としています。近隣エリアにはショッピングモールやレストランなどのロードサイド店舗が立ち並ぶ好立地に加え、お客様の来店に配慮した各種アメニティ、スペースデザインを採用されています。

独自のノウハウをデジタル化に活かす

サービス工場は店舗1階と別棟工場に計10ストールと検査ライン、洗車場を併設しています。主な設備はサービスストールにタンデムリフト6基、フロアリフト1基、フラットワークステージリフト2基を配置、検査ラインには固定式フリーローラー、ワークステージリフト4トンのほか、ネットワークシステムのオプションとして広島マツダ様の協力のもとバンザイが商品開発を手掛けた音声入力もサポートするタブレット検査システム「e-記録簿」を導入、適正な検査業務が効率的に行え、併せて検査員の負担軽減も図られています。

「デジタル化の目的は、誰がやっても同じようにミス無く作業でき、工数の削減にもつなげることです」と山根社長、ネットワークシステムとともにIT化時代に必須のシステムとして今後の拠点計画にも順次導入を計画されています。



店舗奥のサービス工場、小型車4ストール、小・中型トラック1ストール、検査ラインを配置。



検査ラインとフロアリフトを
設備した小・中型トラック
ストール。



音声入力も可能なタブレット
「e-記録簿」を導入。



検査時の写真を自動保存できる「フォトセーバー」
も活用。

別棟のサービス工場、5ストールで一般、重整備にも対応。



ワイドアーム式タンデムリフトで作業効率もアップ。



門型洗車機には自動下部洗浄機を併設し、洗車作業の負担を軽減。

店舗をお客様との「つながり」の場に

また各種の作業改善のシステムと共に、夏季の暑さと冬季の寒冷対策として新工場には冷暖房システムを導入、メカニックが安全、快適に作業できる環境整備が実現されています。

将来的なEVシフトなど様々な環境変化が進む中で、今回の新店舗構想については「お客様とのつながりを重視するための一つのチャレンジでもあります」とのこと。2階には庭園をイメージしたエリアやドリンクカウンターなどを設け、お車の購入を検討され、またサービスをお待ちになる間、「お客様がリラックスして過ごされるように」と配慮した空間づくりがなされています。

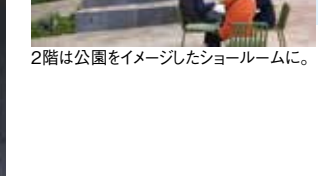
オープン以来、とくに土日は盛況とのことで、「今後の店舗オペレーションが大切になる」として、サービス面においても「お客様を意識したサービス」の提供を推進していきたいとのこと。



デパーチャーラウンジにも排気ガス排出装置を完備。



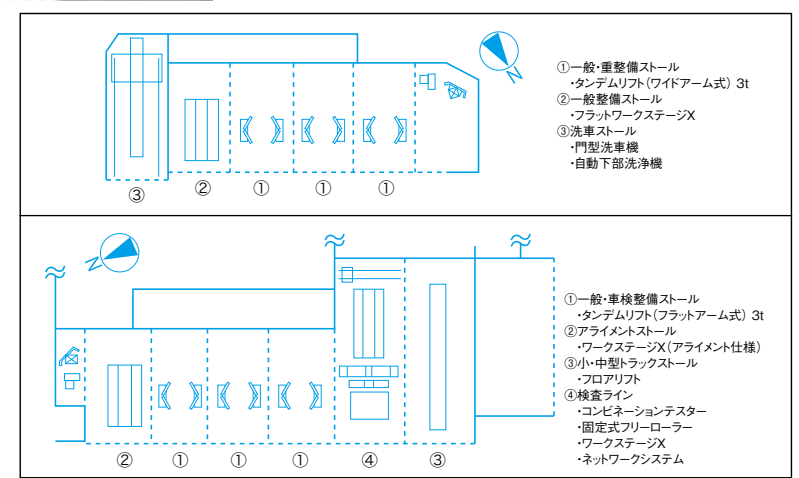
フロアの一面には落ち着いたイメージのドリンクカウンターも設備。



2階は公園をイメージしたショールームに。



最上部の道をイメージした展示スペース。



(この記事に関するお問い合わせは最寄りのバンザイ支店又は事業所までご連絡下さい。)

高度な技術・人材力と最新設備、 最高品質のサービスで変化の時代に対応

高い技術力と規模、実績ともに、国内でも有数の整備・車体整備専門工場として知られる株式会社新和自動車では、早くから設備の高度化、および技術力と人材の育成に取り組まれ、各種の事故損傷に対して最高品質の補修サービスを提供されています。



広大な敷地に2棟の車体整備工場、指定整備工場を有する。



中央手前がアライメントストール。



サービスフロントの左に新設されたアライメントストール。



代表取締役
菊地 等氏

技術力で市場・顧客から高い評価

同社は広島県東広島市の郊外、約5,400坪の敷地に車体整備工場、指定整備工場合わせて約800坪の工場を有しています。近年、板金台数で数年にわたり日本一を獲得し、また高度な技術力により高級輸入車ブランド各社の認定を取得するなど、市場、顧客から高い評価を得ています。

同社の社長、菊地等氏はかつてマツダの養成工として技術を磨き、技能五輪で世界一を競ったほどの経歴の持ち主です。昭和47年に同社を創業され、その後2度の移転を経て工場規模を拡大し、併せて設備の近代化を図ってきました。最新設備導入の目的は「自社で修理できない車があってはいけない」こと、それと同時に「修理した車に責任を持つ」ことが基本思想となっているそうです。



ジャガー・ランドローバーほか輸入車ブランド各社の認定を取得。

最新機器で進化する自動車技術に対応

板金塗装工場の主要設備はベンチ式フレーム修正機5基、床式修正機6面、塗装ブース6基、乾燥炉1基などとなっています。また指定工場は4ストール及び検査ラインを併設しています。

さらに今回、工場入り口部分にアライメントストールを新設し、非接触式アライメントテスター「タッチレス」およびアライメント対応フラットワークステージX 4リフトを導入しました。これにより車両を乗り入れるだけで、ホイールクランプ、ターゲットの取付けも不要、高精度な四輪アライメントが迅速に行えます。従来、アライメントは車体修正後の最終確認という位置付けでしたが、自動車性能の高度化にともない、「作業のピフォア・アフター」のデータを資料として残し、お客様に提供できることが大切です」と菊地社長、「経験と勘」ではなく高精度テスターによる確認を重視されています。



国内初導入、非接触式アライメントテスター「タッチレス」とフラットワークステージX 4t。

自動車の進化に対応、高精度、迅速なアライメント測定を実現。



4ストールと検査ラインを有する指定整備工場。

モニター表示に従って、スムーズな計測が可能。



板金、下地処理から塗装まで、各工程をレイアウト。

ブースは全6基、乾燥炉1基、水性塗装にも対応。



ベンチ式、フロアーレール等、車体修正機も豊富に導入。

下地処理工程、明るく作業性も良好。

技術・人材力で高度化するサービスに対応

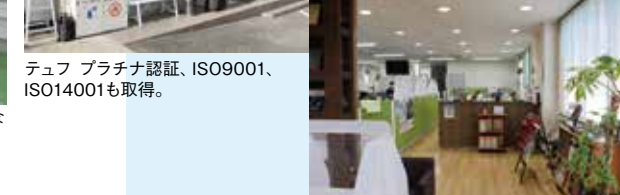
こうした設備・システム導入の発想のもとにあるのは、創業間もないころ視察したアメリカのサービス業での体験がもとになっているそうです。「お客様に喜んでもらえる高品質なサービス」とともに、「それに見合った適正な料金を頂くこと」が本来のサービス業のあり方だということです。

こうした発想から同社では開発後まもない「見積りシステム」の導入に始まり、車体のモノコック化に対応する修正システムの導入、さらに水性塗装への対応など、他社に先駆けて積極的な設備導入を図り、同時に技術の高度化を実現してきました。一方、早くから技術者の育成にも力を入れており、現在の従業員73名のうち22名が海外の技能実習生となっています。工程を分業制とすることによって技術の習得を容易にし、併せてスペシャリスト1人が実習生1班を担当するシステムで、相互の能力向上を図っています。

「人は信頼し、任せることで大きく成長します」と菊地社長。同社の最大の強みである技術・人材力で、高度化する自動車サービスへの対応を目指しています。



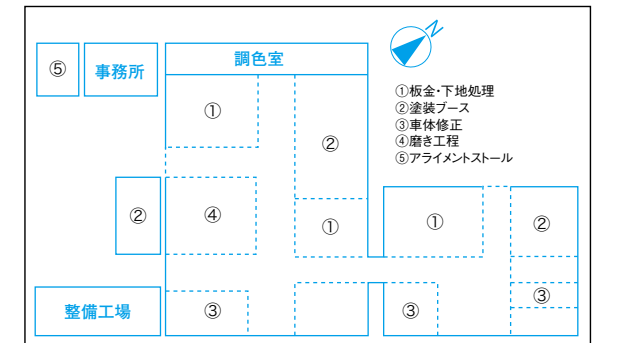
テュフ プラチナ認証、ISO9001、ISO14001も取得。



サービスフロント、保険販売も同社の強みの一つ。



待合コーナーもゆったりとした広さ。



SHOW ROOM

SHOW ROOM

【洗浄・清掃機器】ケルヒャーシリーズ

サービスショップのSMART環境づくりにケルヒャーの洗浄・清掃機器シリーズ。

■高圧冷水洗浄機【HD4/8C-50・HD4/8C-60】

- パワフルな100Vタイプの業務用冷水高圧洗浄機。
- 汚れをしっかりと落とすパワーノズル、洗浄剤散布用ノズルを標準装備。

■仕様

型 式	HD4/8C-50 (60)
電 源 (V)	AC100
質 量 (kg)	23.7
寸 法 (長さ×幅×高さ) (mm)	380 × 360 × 930
吐 出 水 量 (L/h)	400
給 水 温 度 (°C)	最大 60



■乾湿両用バキュームクリーナー【NT30/1AP・NT40/1AP】

- 30/40リットルのタンクを備えた乾湿両用クリーナー。
- 優れた吸引力、作業効率を考えた様々な性能、耐久性を備えています。

■仕様

型 式	NT30/1AP	NT40/1AP
電 源 (V)	AC100	AC100
質 量 (kg)	11.8	12.4
寸 法 (長さ×幅×高さ) (mm)	525 × 370 × 560	525 × 370 × 630
吸 引 風 量 (m³/min)	4.44	4.44
コンテナ容量 (L)	30	40



■室内用リンスクリーナー 業務用【PUZZI8/1C】

- 扱いやすい小型ボディは、車内シートクリーニングに最適。
- 洗浄水噴射と吸引の2つだけの簡単操作。

■仕様

型 式	PUZZI8/1C
電 源 (V)	AC100
質 量 (kg)	9.8
寸 法 (長さ×幅×高さ) (mm)	530 × 330 × 440
吸 引 風 量 (m³/min)	3.66
噴 霧 量 (L/min)	1



■室内用スチームクリーナー 業務用サブタンク付【SG4/4】

- 洗剤を使わずに約100°Cの強力スチームで車内シートを除菌&洗浄!
- 除菌から汚れの洗い流しまで幅広い用途に使用可能。

■仕様

型 式	SG4/4
電 源 (V)	AC100
質 量 (kg)	8
寸 法 (長さ×幅×高さ) (mm)	475 × 320 × 275
加 熱 出 力 (W)	1500
タンク容量 (L)	4



■バッテリー式床洗浄機【BD43/40WBP】



- 17インチディスクブラシは広範囲の床清掃に最適。
- レバーを倒すだけでマシンが前進する自走式、高い操作性で効率良く清掃。

■仕様

型 式	BD43/40WBP
動 力 (V)	24(バッテリー駆動)
質 量 (kg)	164
寸 法 (長さ×幅×高さ) (mm)	1,331 × 537 × 1,145
タンク容量 (L)	40/40
洗浄水 / 汚水	
満充電時連続使用時間	2時間 30分 / 2時間
エコモード / 標準モード	

【加湿機・冷風機】業務用加湿機 HSE302

冬季のインフルエンザ予防、静電気対策に!
ショールーム・事務所に最適の大容量加湿機

加湿面積 130㎡(80畳)
除菌・脱臭機能 ボタン1つでオゾンを発生!

※100㎡(高さ2.5m、広さ40㎡(24畳)より狭い部屋ではオゾンを使用しないでください。

- バツグンの加湿力、最大3.6L/h!
静電気の発生を抑制し、室内の空気に潤いを与え、インフルエンザ感染の予防に役立ちます。
- 水道水を使用、手軽に給水
8リットルタンクを2個内蔵。タンクへの給水は水道水でOK。
- 抗菌パック付き
本体内の菌の増殖を抑える抗菌パックを使用。約2年間効果を保ちます。
- オフタイマー搭載
1・4・8時間で自動停止するオフタイマーを搭載。消し忘れ防止、節電に。
- 左右オートスイング
ルーバーが左右にオートスイング、うるおいの風を室内に広げます。
- 夏は冷風機・換気にも
ルーバーの向きを調節して冷風機として、またサーキュレーターとして使用できます。

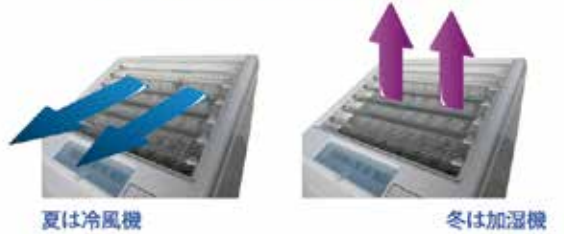


移動可能/手動給排水モデル



※動画はこちら

冬は上向き、夏は水平向きで
冷風機として使用できます。



■仕様

型 式	HSE302
電 源 (V)	AC100 (50/60Hz)
消 費 電 力 (W)	73/97 (50/60Hz)
風 量 (m³/min)	22.3/25.6 (50/60Hz)
加 湿 量 (L/h)	強 3.4/3.6(50/60Hz)
	中 2.7/2.9(50/60Hz)
	弱 2.6/2.3(50/60Hz)
連続使用時間 (h)	4.7/4.4(50/60Hz: 強運転時)
質 量 (kg)	51
寸 法 (mm)	W578 × D489 × H1,337

※仕様は吸込み口空気条件が20°C相対湿度30%
※使用周囲温度5°C~45°C

SHOW ROOM

【カプラー取り外しプライヤー】マルチ スタッグ ISO-917

カプラー・コネクターの取り外しが、指を傷めず、らくらく確実に!



操作性の良い特殊形状スプリング付き二本ツノ

- 燃料系ホースカプラー、電気系カプラー、エバポレーターホースなどに幅広く対応。
- 固く、取り外しが困難なホースカプラーも容易に取り外し可能。
- 手を傷めにくく、部品を破損させにくい特殊形状スプリング構造。
- 狭い場所、様々な角度に対応可能な180度回転ヘッド。

■仕様

型 式	ISO-917
本体長さ(全長)(mm)	130
ツノ部幅(mm)	43
質 量(g)	57.5



※取外し動画はこちら

【エアリーールホース用カバー】あばれ防止カバー TRP-105/TRP-140

エアースパンク時の暴れを防止

- パンク時、漏れたエアを拡散し暴れを防止します。
- 面ファスナー付き、ホースに巻くだけでOK。
- ホースを火花からも保護、傷付きを防止します。
- 洗濯も可能です。

■仕様

型 式	TRP-105	TRP-140
対応ホースサイズ	1/4	3/8・1/2
寸 法(mm)	W105×L700	W140×L700

- ※使用温度範囲:-60~125℃
- ※本体材質:ナイロン(難燃性)
- ※RoHS指令適合品



※動画はこちら

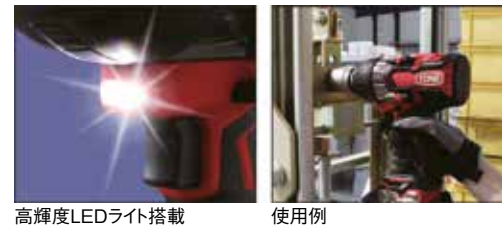
装着イメージ

SHOW ROOM

【電動インパクトレンチ】コードレスインパクトレンチ CIW61100-33T/CIW61100-4121

扱いやすさ重視、コードレス最強クラスの圧倒的ハイパワー!

- コードレスで100V並みの最強クラスの締付けトルクを実現、最大トルク1,100N・m。
- 大容量バッテリーを装備、F10TM24×80の本締め(締付時間3秒)を約145本可能。
※締付けトルクに指定がある場合はトルクレンチの併用をお勧めします。
- 本体は超軽量4.0kg、全長221mmで作業負担を軽減。
- 無段階変速スイッチと締付モード4パターン出力調整機能を採用。
幅広いシチュエーションに対応が可能です。



高輝度LEDライト搭載

使用例



エクステンションバー

4121コンビソケット

33Tインパクトソケット

■仕様

型 式	CIW61100-33T	CIW61100-4121
四角ドライブ(mm)	19.0(ピン穴)	
能 力	普通ボルト	M12 ~ M30
	高力ボルト	M10 ~ M24
最大締付トルク(N・m)	最大 1,100(※1)	
質 量(kg)	4.0(※2)	
寸 法(mm)	L221×H296×W92(※2)	
付 属 品	エクステンションバー	
	33Tインパクトソケット	4121コンビソケット

※1 気温20℃、満充電、締付時間3秒として。

※2 BSL36B18バッテリー装着時。

【電子車検証対応】電子車検証用ICカードリーダー・ライター CIR315A-02

電子車検証のICタグの読み取り、更新情報の書き込みに対応!

- 国土交通省、電子車検証動作確認済み機器です。
※読み取りには国土交通省から提供される「車検証閲覧アプリ」が必要です。
※書き込みには国土交通省から提供される「記録等事務代行アプリ」及び「記録等事務委託制度の申請」等が必要です。
※検査標章を印刷するためにレーザープリンタが必要になります。

■仕様

型 式	CIR315A-02
質 量(g)	81(±5g)
寸 法(mm)	L98×W66×H11
供給電源	USB バスパワー
U S B 規 格	USB 2.0 Full Speed (12 Mbps)
U S B ケーブル(m)	1



フレキシブル

互換性

高速

このコーナーでは、本来であれば海外の販売店様やユーザー様の紹介をさせて頂く場ではありますが、今回は少し趣向を変えて、コロナウィルスの影響で暫く遠のいていた海外販売部員の海外出張の様子をレポートしてみたいと思います。

第一回目の今回は、海外販売部員が11月に出張したベトナム編です。



フランス統治時代の面影を残す、ホーチミン市のグエンフエ通り

4年ぶりのベトナム出張、しかしこのわずか4年の間に世の中がガラッと変わってしまったようです。

日本から約6時間、ホーチミンのタンソンニャット国際空港へ到着。

入国の際のコロナウィルス感染防止対策など不安要素はあったものの、ベトナムの入国審査はこれまでと変わらない状態にまで戻っていたそうです。但し、飛行機を降りてから審査までの所要時間が2時間弱もかかったという事を除けばとのことですが・・・

空港内は観光客で溢れ、マスクをしている人々は2~3割程度とのこと。



まず、最初に訪問したのはホーチミンより車で移動したロンアン省にあるメルセデスベンツの納車前のチェックや整備を行っていらっしゃるお客

様です。その整備の一環として当社製の門型洗車機を導入頂いております。

驚くべきことは、導入頂いてから一度もトラブル発生の連絡が無かったことです。しかしその理由が日々行っているお手入れの賜物であるとすぐに理解できたそうです。現地の方が自身がどれだけこの機械を気に入り、手入れをしているのかアピールして下さる場面に接し、大変嬉しい気持ちになったとのこと。

コロナウィルスが猛威を振るった時期は外出禁止による出勤停止を避ける為、30人程のスタッフが工場内にテントを張り寝泊まりして作業に従事したそうです。



次に、ハノイにある現地販売店の一つ、Tan Phat社のヘッドオフィスを訪ねた。こちらはベトナムにある自動車整備機器販売業者の中でも屈指の規模を誇ります。入口には弊社社員を歓迎する電光掲示板が光り、いささか緊張したそうです。昼食会の後は、スタッフの方と懇談会を開いて頂き、Tan Phat側からはコロナの規制は緩和されたものの、その影響は相当色濃く残っているようで計画していた商談の延期やキャンセルが相次いでいることや、銀行からの借入れが今年から厳しくなることなどのお話を聞くことができました。メールのやり取りだけで実際にお会いしたことのないスタッフの方々にお会いできたり、会長や社長にもご挨拶することもでき、同社との友好関係をより一層強くできたのではないかと実感したとのこと。



Tan Phat社ヘッドオフィス

最後にお邪魔したのは、ベトナム中部に位置するリゾート地、ダナンに2020年にオープンした日系のカーディーラーです。オープンしてから一度も訪問できず、オープンの際にいただいた写真や動画で拝見してはいたものの、今回ようやく訪問することが出来たとのこと。移動車の窓から徐々に近づいてくる同店の大きさに圧倒されたようです。

日本人スタッフ、ベトナム人スタッフの方々と挨拶をかわし、サービス工場をじっくりと拝見させて頂きました。

機器の取付や据付は現地販売店が行っていたため、よく見ると説明がいき届いていなかった箇所もあり、正しい取付方や使い方がされていない商品もありました。改めて訪問できてよかったなと実感したとのこと。



点検・整備、故障修理のストールは30ストール以上



40ストール以上もあるBPサービス工場



ネクストのフロアシステム

GDPも昨年より6%から7%と上昇してきているようですが、先ほども述べたように銀行からの借入れが今後より厳しくなるというベトナムですが、これからは目が離せない国の一つです。

今回はスケジュールの都合で訪問できなかったお客様もありますし、ベトナム以外の国のお客様にも訪問し直接お会い出来ればと思っており、コロナウィルスは依然として猛威を振るっておりますが、感染防止に配慮しながら、少しずつ出張の機会を増やして行くそうです。

やはり「お客様の顔を見てコミュニケーション」を取る事が一番のようです。



日系カーディーラーの社員食堂で頂いた米麺。フォーとは違い、甘い醤油をかけるスタイルです。

MSC感動夢工場、第一回研究会を開催

■価値観を覆す変革期が目前に

MSC経営戦略会議と感動夢工場との合併により新たにスタートした「MSC感動夢工場」では、昨年11月15日～16日の2日間、東京都内において第一回研究会を開催しました。

今回の研究会の主な内容は、一日目はバンザイ本社大会議室を会場として2つのテーマによる講演、また二日目は港区白金台の東京都庭園美術館の見学が行われました。

研究会の開催に先立ち、同会の山崎太会長が開会挨拶に登壇、CASEに代表される自動車業界の革新にふれ、今後に予想される従来の価値観を覆すような変化を予想し、その契機として来年から始まる車検証の電子化への対応が必要と所感を述べました。

■業界内外のテーマで講演を開催



MSC感動夢工場会長、山崎太氏

その後の講演では、「EV シフトの舞台裏 ～日本市場の今～」と題して、日刊自動車新聞社 取締役編集本部長、花井真紀子氏が登壇、2035年までに国内で販売される全ての車両をEV化するという政府方針と、国内外のメーカーのEV開発の現状とサービス業界の課題について解説されました。

また二番目の講演は、「客室乗務員が大切にしていること ～おもてなしの心の実践～」と題し、日本航空株式会社産学連携部事業開発グループ、川村 絢美氏を講師として、サービス業において役立つコミュニケーションと人材育成、お客様との絆づくりのヒントなど、「おもてなし」の最前線に立つキャビンアテンダントを例に分かりやすく述べられました。



講師、花井真紀子氏



講師、川村 絢美氏



第一回研究会に全国から会員が参集

■近代化の歴史遺産に触れる

二日目はわが国における文化的遺産として昭和初期のアール・デコ様式を正確にとどめる、旧朝香宮邸と庭園を保存する東京都庭園美術館を見学。当日開催中の「旅と想像/創造～いつかあなたの旅になる～」展覧会および日本庭園、茶室、西洋庭園などを見学、昭和初期のわが国の文化に触れ、研究会の日程を終了しました。



昭和初期のアール・デコ様式の建物と庭園を美術館として保存。



BANZAI GUIDE

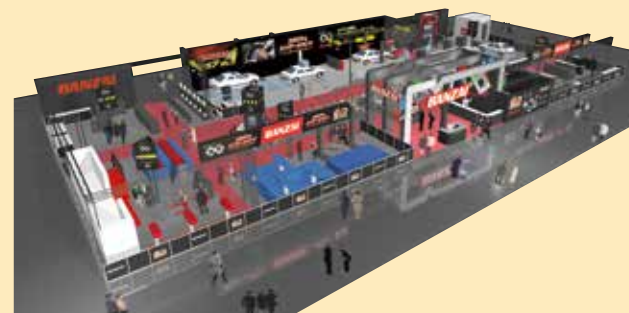
第37回オートサービスショー2023

明日のサービス創造へ！
オートサービスショー 4年ぶりに開催

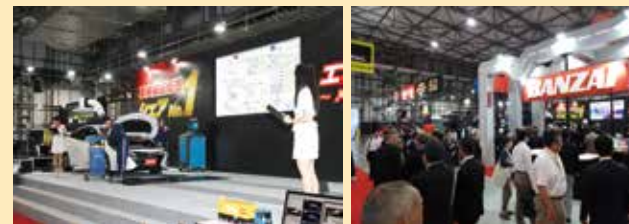
SMART SERVICE 自動車整備のみらいをデザイン

コロナ禍により開催が見送られてきました「オートサービスショー」が、4年ぶりに開催の運びとなりました。バンザイでは「SMART SERVICE 自動車整備のみらいをデザイン」をテーマにCASEの時代に対応する、自動車サービスの未来像をプレゼンテーションしてまいります。

皆様のご来場をお待ちしております。



※ASS2019バンザイブースのイメージです



2023年会場は再び「東京国際展示場 東館」で開催(写真は前回2019年)。

会期
2023年
6月15日(金)～17日(日) [3日間]

会場
東京ビッグサイト[東京国際展示場]
東1・2・3ホール及び屋外

開場時間
10:00～17:00 ※ただし、最終日は16:00まで

入場料(消費税込)
一般:1,000円
学生:500円

※事前登録者及び中学生以下は無料。

編集後記



明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。2022年の今年の漢字は「戦」でした。選定理由は、ロシアのウクライナ侵攻や、物価高、新型コロナウイルスなど生活の中で起きている身近な「戦」の他に、サッカーW杯や北京冬季五輪での熱「戦」が挙げられました。特にサッカーW杯は日本代表が強豪国を撃破し、

大きな感動を与えてくれたことは記憶に新しいところです。さて、本年は4年ぶりとなるオートサービスショーが開催されます。サッカーW杯や北京冬季五輪に負けない熱気で皆様のご来場をお待ちしております。末筆ながら本年も皆様の笑顔あふれる年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

<高泉>